

始業式の話

～一人の力をみんなの力に～

長い休校が分散登校を経て終わり、今日から学校が再開しました。学校が休校のとき、皆さんはおうちでの学習を一人で頑張りました。分散登校はじめのころは先生と二人の友達でがんばりました。友達と会えたうれしさと、クラス全員に会えないさみしさを感じた子もいたことでしょう。6月に入り、分散登校でクラスの半分約20人の友達との勉強がはじまりました。友達と過ごす時間の素晴らしさ感じながら、やっぱり、クラス全員に会えないさみしさを感じた子もいたことでしょう。

でも、今日からはクラス全員との生活がはじまります。自分だけの勉強から、友達二人と一緒に勉強へ。二人の勉強から20人の友達と一緒に勉強へ、そして、今日やっとクラス全員が集まつたのです。一人の力よりも二人の力、二人の力よりも20人の力、20人の力よりもクラス全員の力で成し遂げることの楽しさやうれしさを、これから、いっぱい、いっぱい感じ取ってほしいと思います。

さて、私の大好きな1冊の絵本を紹介します。「ともだち」という絵本です。たくさんの友達の姿が描かれていますが。今日は3つの場面を使ってお話しします。

絵本 「ともだち」(谷川俊太郎・文 和田誠・絵) より



② ふたりなら もてる

①ひとりでは もてない
おもいものも

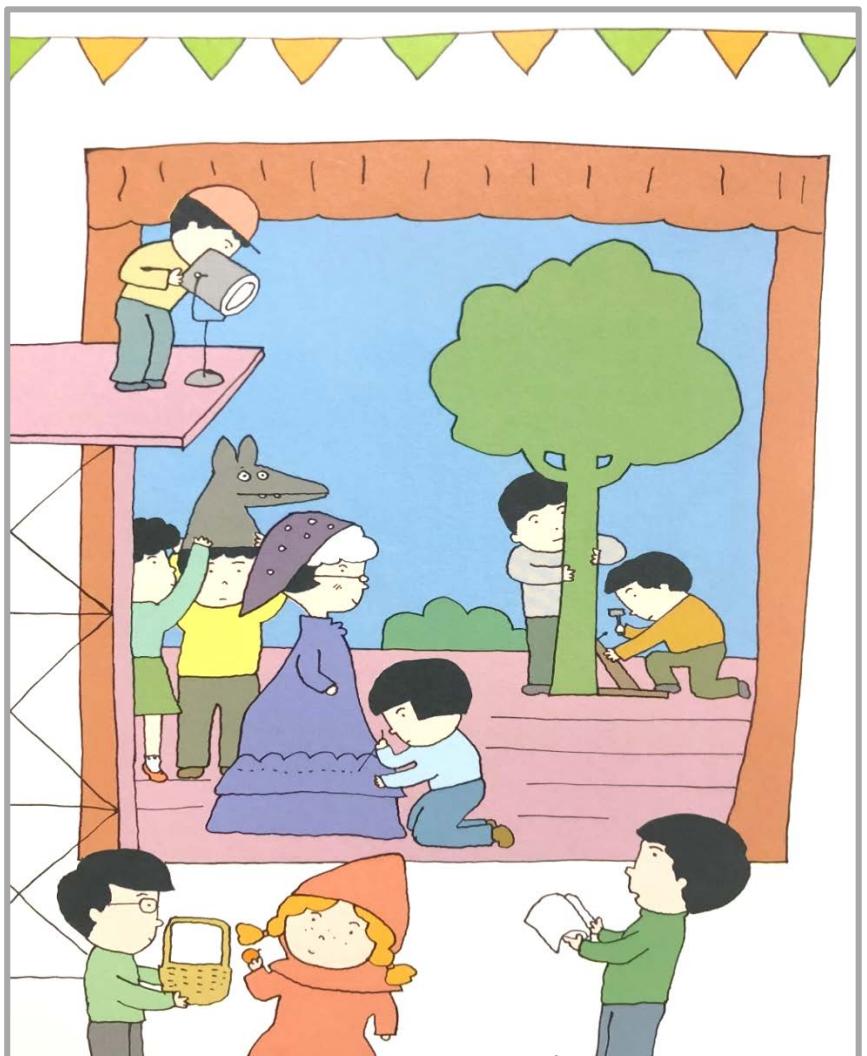
④ ふたりでやれば
おもしろい



③ひとりでは
つまらないことも



⑤ひとりでは
できないことも



⑥ともだちと
ちからを あわせれば
できる

令和元年度 学習発表会より 一人の力をつなげて創り上げた物語



みんなでできることをたくさん経験し、友達と一緒にいることの楽しさをいっぱい感じていく！学期にしていきましょう。

実は、この休校中、6年生は、学校の校歌を創り上げました。みんなと会うことのできない日に、みんなと一緒に校歌を歌うことのできない日に、1年生の入学を入学式でお迎えできない状況の中で、6年生がそれぞれのおうちで、たった一人で校歌を歌いました。その歌と歌っている姿を動画にとりました。76人分の動画が送られてきました。その一人一人の歌声を重ねて、入学式に1年生にプレゼントすることができました。

6年生の皆さん、たった一人で校歌を歌ってくれてありがとう。6年生一人の歌声が重なることで、すてきな、すてきな校歌ができました。一人ではできないことも、歌声を重ね、心を重ねた皆さんのが創り上げた校歌は、多くの人たちの心に感動を伝えました。一人の力が集まり大きな力になることを、6年生が伝えてくれたのです。教えてくれたのです。

さあ、これから約1か月-31日間一、皆さんにとっての大切な1学期です。
みんなでがんばっていきましょう。